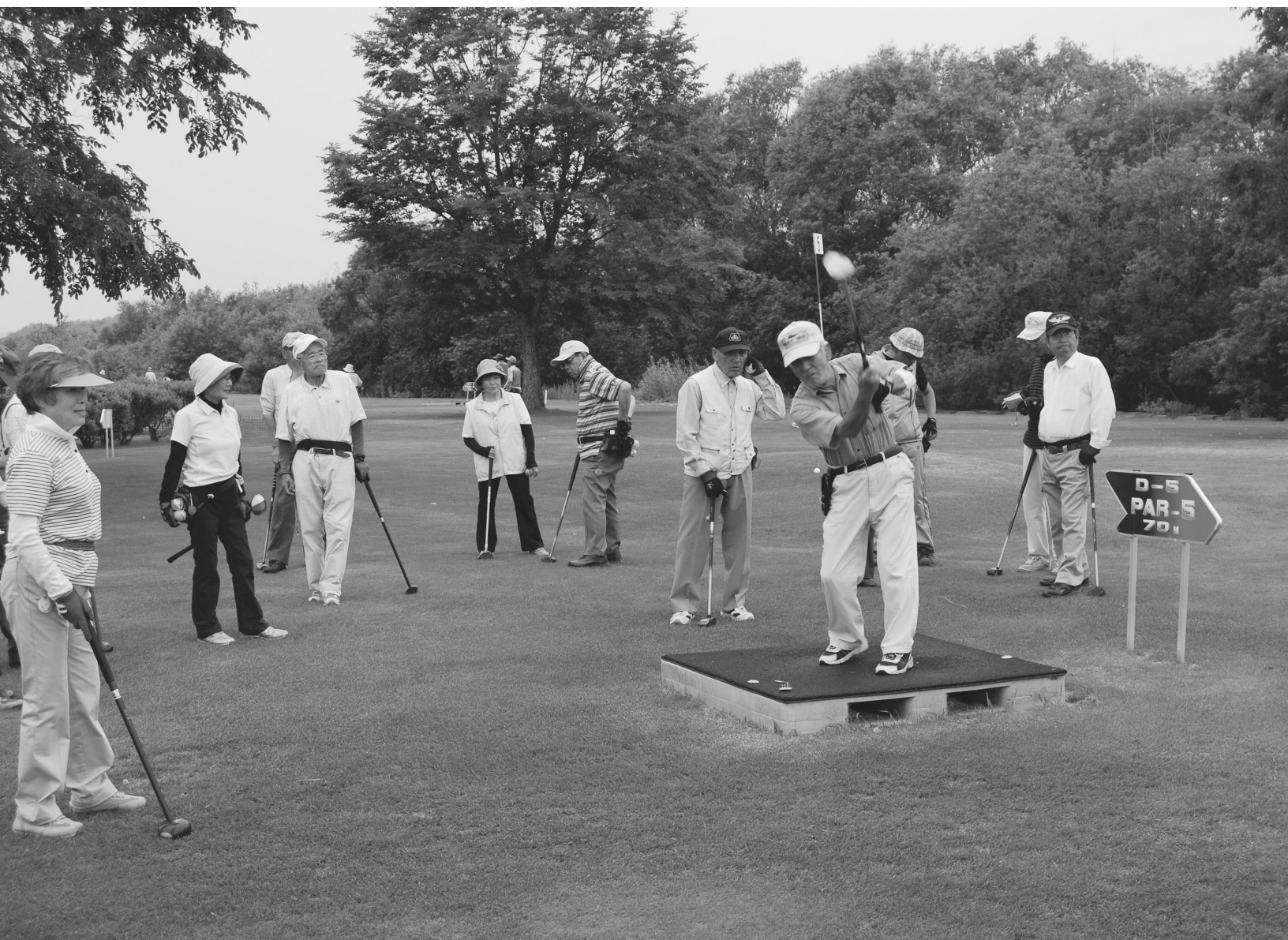


くねっふ 議会だより

有害鳥獣に対して本町の対策は

一般質問 ④ ページ

186号



—老連パークゴルフ大会—

各老人クラブから67人が参加
「ナイスショット」の連発

も

6月定例会で審議した議案 ② ページ

く

6月定例会一般質問 ④ ページ

じ

各常任委員会所管事務調査 ⑬ ページ

議会の主なうごき／あとかき ⑭ ページ

平成27年6月定例会

6月22日～24日まで

一般会計2億5,161万円を補正

平成27年度各会計補正予算は、原案どおり可決されました。

一般会計(第3号)

歳入歳出予算に2億5,160万9千円追加し、総額を43億5,246万6千円としました。

■主な歳出内容

○社会保障・税番号制度システム整備業務	12,856千円計上
○町有住宅改修工事	3,000千円計上
○町内会活動・実践会活動補助金	4,350千円計上
○臨時福祉給付金	7,200千円計上
○街路灯等LED化事業調査業務	7,560千円計上
○太陽光発電システム導入費補助金	4,200千円計上
○ゴミ収集車購入	16,082千円計上
○経営体育成支援事業	15,222千円計上
○畜産競争力強化対策整備事業補助金	88,849千円計上
○道営山林川地区水利施設整備事業負担金	13,500千円計上
○消防庁舎維持補修・修繕工事費	23,000千円計上
○子ども園施設用備品	4,023千円計上
○公民館配管洗浄・不凍液交換業務	4,158千円計上

介護保険特別会計(第1号)

歳入歳出予算に2,159万9千円追加し、総額を5億2,069万9千円としました。

■主な歳出内容

○国庫支出金等返還金	20,283千円追加
------------	------------

※3頁に他議案内容等

平成27年第5回臨時会

6月30日

第5回臨時会を6月30日に開催し、次の案件について審議を行い、原案のとおり可決いたしました。

【議案】

- ◆財産の取得について……………原案可決
ゴミ収集車を三菱ふそうトラック・バス(株)北海道ふそう北見支店から購入することに決定しました。

○契約金額 1,439万6,400円

予算関連質疑応答

Q ふるさとおもいや
り寄付推進事業1
21万5千円の内容は。

A 寄付をされた方に
謝礼として町の特
産品などを贈る制度に
改正します。

町のPRを強化する
ためにインターネット
活用やクレジット納付
を導入します。

謝礼品、カタログ印
刷製本費、ふるさと納
税ポータルサイト使用
料などです。

事業はJTB西日本
に委託します。

.....

条例の制定等

◆町税条例等の一部改
正

原案可決
地方税法等の改正に
伴い、町税条例等の一
部を改正しました。

人事案件

◆監査委員の選任（識
見を有する監査委員）

原案同意

平成27年7月16日に
任期満了となる監査委
員に山田 稔さん（旭
町・再任）を選任する
ことに同意しました。

任期は、平成27年7
月17日から平成31年7
月16日までの4年間と
なります。

選挙

◆選挙管理委員会の委
員及び補充員の選挙

当選

平成27年7月1日に
任期満了となる委員4
名・補充員4名が、次
のとおり当選しました。

（委員）

仁木 範幸さん（東町）
芳賀 孝司さん（大町）
村口多加代さん（東町）
森下 直治さん（穂波）
（補充員）

報告

◆繰越明許費繰越計算
書（平成26年度一般会
計予算）の報告

報告了承

乳幼児等医療費助成
事業等全6事業の事業
費7,857万6千円
を平成27年度に繰り越
した旨の報告がありま
した。

◆継続費繰越計算書

（平成26年度一般会計
予算）の報告

報告了承

こども園建設事業に
ついて、平成26年度支

・繰上順位1
太田 悟さん（東町）
・繰上順位2
川戸 洋子さん（清住）
・繰上順位3
齊藤 聡さん（東町）
・繰上順位4
木山 尚美さん（日出）

任期は、平成27年7
月2日から平成31年7
月1日までの4年間で
す。

出額及び翌年度通次繰
越額の報告がありまし
た。

◆事故繰越し繰越計算
書（平成26年度一般会
計予算）の報告

報告了承

地方交通対策事業
（バス待合施設設置）
について、大雪の影響
に伴う道道工事の遅延
により、平成27年度に
事故繰越しの旨の報告
がありました。

◆ふるさとおもいやり
寄附金等の運用状況報
告

報告了承

平成26年度のふるさ
とおもいやり寄附金等
の運用状況報告があり
ました。

◆教育委員会の活動状
況に関する点検・評価
報告

報告了承

教育委員会から平成
26年度の活動状況に関
して、点検・評価した
旨の報告がありました。

◆出納検査結果報告

報告了承
監査委員から4月か
ら6月分までの一般会
計及び特別会計、水道
事業会計について例月
出納検査を実施した結
果、出納事務は適法に
行われ、異常ない旨の
報告がありました。

追加議案

◆こども園再生可能工
ネルギー施設整備工事
請負契約の締結につい
て

原案可決

こども園再生可能工
ネルギー施設整備工事
を天内工業㈱と請負契
約を締結することに決
定しました。

○契約金額

1億422万円

◆末広団地公営住宅建
設工事請負契約の締結
について

原案可決

末広団地公営住宅建
設工事を久島工業㈱と
請負契約を締結するこ

とに決定しました。
契約金額
5,724万円

◆議会活性化特別委員
会の設置について

決定

議会閉会中も議会活
性化等に関する事項の
協議及び調査できるよ
う設置しました。

◆議員の派遣について

決定

議員の派遣を決定し
ました。

○北海道町村議会議長
会議員研修会及び視察
研修

（7月7日～8日札幌
市 全議員）

○北海道町村議会議長
会新任議員研修会

（7月23日帯広市 須
河、山田、西森、堤議員）

○北海道町村議会議長
会広報研修会

（8月18日～19日札幌
市 山田委員長、堤委
員）

○道内行政視察研修

（8月24日～25日奈井
江町、旭川市 全議員）

一般質問

9名の議員が町長、教育長に一般質問を行いました。

有害鳥獣に対して本町の対策は

町長 ▼ 狩猟免許取得者の拡大を図る



川村 議員

川村 有害鳥獣に対して本町の対策は。

町長 本町では猟友会会員の高齢化により人員不足があると考えられますので、狩猟免許取得者の拡大を図る事を目的として費用に対する助成制度を設けています。また、わな狩猟免許取得に係る経費も予算化し、くくりわな購入予算も計上し、平成23年から現在にかけて、狩猟免許取得者4名、わな免許取得者17名

という状況にあります。被害防止対策には、時

間的な制約（日没後発砲出来ない）、畑の中をあらすなど種々の問題をかかえるので、本町ではわな狩が適していると考えられ「くくりわなの会」が立ち上がっています。

川村 他町村との連携はどうなっているか。佐呂間町では相当効果を上げていっていると聞かれています。

町長 佐呂間町は一頭に付き2万円が支払われ有害鳥獣駆除目的でなく行われていると聞いています。

川村 本町美園と置戸町東栄の関係で、東栄地区からの進入をどう見る。

町長 他町村で駆除出来ません。他町村からの要請には応じますが、町民の方々の協力や猟

友会の協力を得ながら効率的な成果を上げていきます。

川村 電気牧柵設置とその効果は。

町長 実践会長会議やまちづくり推進会議での協議結果で鹿の駆除に主眼を置き、平成24年度から26年度までの3カ年で電牧設置事業を復活、内容は資材の1/3を補助24、26年までの3年間で約280万円を補助、事業実施者より食害防止の効果は認められる。しかし、設置していない畑に被害が出るなど、その効果は絶対的なものではありません。



町内に設置している鹿柵。食害防止の効果は認められる

※川村議員はこの他に農業委員会について質問をしているが途中で打ち切っている。

財政安定と建設財源の確保は

町長 ▼ 将来につながる財政運営に心掛けます



須河 議員

須河 町政執行方針の中に建物建設事業があるが、財政の状況と財源確保は、どの様に考えていますか。

町長 一般会計歳入予算総額に占める地方交付税が47・1%自主財源が25・7%で歳入の70%を国に依存した脆弱な財政基盤にあります。

公共施設建設に関する歳出については地方債を財源にできると規定されており、臨時財政対策債、過疎地域自立促進特別事業債などがある。建物建設事業費は多額になるため、

国や北海道などの補助金や交付金などを導入し町の持ち出し分については、これら地方債や基金からの財源確保が必要となります。財政は、町政の柱であり8年間で地方債現在高

商店街の再生発展と 共にある町づくり

町長 ▼ 「子ども達の笑顔が輝く町づくり」をめざします

須河 行政財源、福祉介護、子育て教育などの基盤確保するためにも、人口減少の緩和政策と、住民の増加が必要不可欠となるがその対策と考える方をお尋ねしたい。

町長 人口増加の特効薬の選択肢は少ない。町独自の子育て支援や若い世代の結婚・出産・子育て

約27億円減少、実質公債費比率7・2ポイント改善し好転の兆しは感じるが今後の大型投資に向け将来につながる財政運営に心掛けま

て事業により、中長期に渡り人口減少を緩和させることが、必要であります。また、基幹産業の農業を力強い産業に育て、足腰の強い町づくりを目指します。

須河 近年、商店街が疲弊し、町民自ら選べる魅力ある商店街の再生と対策について伺い

たい。

町長 お年寄りなど買い物弱者にとつて大変不便な状況です。

「不足業種の誘致」や非営業施設の整備などとも必要である。今年度商工予算で1千51万円の補助金はもとより商店街を含めた町全体

の振興策として住環境リフォーム促進、年末売り出しの景品助成やプレミアム付き商品券の発行など多くの活性化対策を行っています。今後も商工会、商店街協同組合と連携し積極的な振興策の推進に努めて参ります。



将来につながる財政運営に

一般質問の記事掲載について

一般質問の記事については、一質問者につき二問までを掲載し、内容を要約しています。

その他の質問事項や詳しい内容については、会議録をご覧ください。

会議録は図書館に備えてあります。また、町ホームページ(<http://www.town.kunneppu.hokkaido.jp/>)にも掲載しております。

なお、会議録公開については、議会終了後3カ月程度の期間を要します。

グループホーム・長寿会館建設の内容は

町長 ▼ 町民や関係団体と協議して実現に向かう



余湖 議員

余湖 町長の町政執行方針の中の「すべての町民にやさしい」という政策として「障がい者のための多機能型グループホーム」建設や「長寿会館」の建設を視野にいれているとしていますが、両事業の規模ならびに時期、場所等の内容について伺います。

町長 両施設は私の3期目のスタートにあたり平成27年度町政執行方針で任期中に実施する政策として挙げさせていたいただきましたので今後、町民の方をはじめ関係団体や議会の皆さ



建設が町民福祉向上のため
優先すべき課題の長寿会館

まと協議した中で実現に向けて進めてまいりたいと考えています。

グループホーム事業については平成9年以来福祉友の会が重度障がい者の受け入れも可能な施設要望を続けてこれら、これらを反映した「訓子府障がい者計画

にも求められている。

さらに就労支援施設であるさらさら本舗から要望されてきた施設であり「町民にやさしいまちづくり」の最終章としてこの事業の建設を民間と連携した中で実施することをマニフェストに入れると

答えています。

長寿会館につきましても中央長寿会からの意向を踏まえた町内会連絡協議会からの運営についての要請を受け前向きに検討すること

用地の銀河公園を横断する幸町線は町道として数カ月が経過していますが、車が早いスピードで走り交通安全の上でも非常に危険な道路だと思いますが安全対策としての道路の速度規制などはどうなっていますか。

いずれにしましても利用者、関係者などの要望も伺いながら議会の皆様とも協議したいと考えています。

余湖 グループホーム

町長 道路については北見警察署ならびに公安委員会が現場を見て必要性を判断して決めるものなので早急な対応をしています。

津野町との記念事業の計画は

町長 ▼ 津野山古式神楽を招いての披露を計画

余湖 津野町との交流に関し28年度の開基120年に向けた事業についてどのような事業展開をお持ちなのか伺います。

町長 現時点では具体的にありませんが国の無形文化財に指

定されております「津野山古式神楽」を招き子どもたちあるいは町民の方たちに披露し、先人たちのふるさとの一つである津野町の歴史や文化に触れていた

「議会だより」についてご意見をお寄せください。

議会に対するご意見や、議会だよりを見て感じたことなどどんなことでも結構です。

どうぞ議会事務局までご意見をお寄せください。

☎47-2184・FAX47-2600 ✉gikai@town.kunneppu.hokkaido.jp



人口ビジョンを諦めにつなげてはいけない

町長 ▼ 状況を的確につかんだ議論が必要



工藤 議員

工藤 政府は、「まち・ひと・しごと創生法」

に基づき「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」策定を求めているが、人口ビジョン策定では積み上がった数字に町民がしばらく対応によつては諦めや無力感につながっていくのではないかと懸念している。

町長 日本の社会が、とりわけ農村が人口減少になっていく状況を的確につかんでいくことが必要だ。

人口減少問題は、それぞれの町の責任というより、国の政策的影響が大きいと考える。

市町村や小さな自治体の責任ということにならない。都市にも様々な課題があるのでともに共有して立ち向かっていかなければならないと考える。

とりわけ、増田寛也氏の言う地方消滅や農村消滅論は選択と集中で、コンパクトシティ推進につながることが明白であり、町長としてはいかなものかと危惧している。

工藤 「地方版総合戦略」策定にあたっては、町民の方々がかかえている課題や声を反映させるものがあつて、本物の地方創生となると思うが、今後どのような考え方で進めていくのか。

町長 国が定めた4つ

の基本目標と北海道創生戦略の骨子である5つの戦略を勘案しつつ、本町の地域課題解決のための戦略や、私が政策として掲げる「訓子

府の元気づくり」につながる戦略を策定することが必要であり、町長としては「実を取る」という考え方で取り組んで行く。

戦略策定にあたっては、若手を中心に「プロジェクトチーム」を構成し、人口分析と将来展望の議論をしてい



未来に向かい「地方総合戦略」策定に向けている訓子府町

町長 車座トークを活用した町民の声や、各団体や議会の議論をいただきながら進めたい。第6次計画は本町のかかえる多くの課題を考え、地域の将来に大きなツケを回すことのない総合的・計画的自治体運営の指針となるよう検討したい。

工藤 「第6次総合計画」の柱は何か。

町長 現実的な課題解決のため即戦的なものが求められると同時に未来に向かつて子どもたちの笑顔が輝く町をどう創っていくのが大事な柱となる。

議長宛ての文書の送付は議会事務局へ

議長宛ての文書を送付する際は、議長の自宅ではなく議会事務局まで送付くださいますようお願いいたします。

送付先 〒099-1498 訓子府町東町398番地 訓子府町議会事務局 問合せ先 ☎0157-47-2184

空き家活用定住対策補助金について

町長 ▼ 空き家増加抑制と定住促進を目的に



堤 議員

堤 補助金が空き家

対策と本町定住促進を
目的とするなら、町内
在住者の離町抑止策に
力を入れるべきだ。

補助対策が狭小では
もったいない施策だ。

廃虚撤去費補助や更地
の新築移住者支援とし
て考えられないのか。

町長 空き家活用定住

対策は、現在90戸ある
空き家のうち半分が再
活用可能であり、それ
をどうするか。

全国的に見て移住希
望者は、若中年世代に
多いことを狙った施策
であることも、ご理解
いただきたい。

廃虚などについては
特定空家特別措置法を
合わせ検討する。他の
提案に対しても、今後
検討していきたい。

堤 空き家バンク開

設で、登録促進奨励金
をどう活用するのか。

農業体験・田舎暮らし
体験移住や交流促進と
バンク事業を連係させ
ることはできないか。

体験移住や交流促進
事業は、総合的施策を
求めていると思うので、
今後分厚い施策として
検討していきたい。

訓子府町の今後の商業振興策について

町長 ▼ 大きく変わるものはない

堤 大手スーパ

ーの
出店が町全体に与える
利益と商業環境の変化
影響について、町とし
ての見解を伺いたい。

町長 町は法人町民税

や固定資産税の増加。
町内雇用機会の増加。

町長 仲介奨励金は自
治会だけで、1軒につ
き5千円とする。

自治会に広く制度理
解を求めること。転入
者が自治会に馴染みや
すくとの思いである。

体験移住や交流促進
事業は、総合的施策を
求めていると思うので、
今後分厚い施策として
検討していきたい。

これはアンケートで
も多くの町民が望んで
きたことでもある。

堤 衰退が懸念され

る既存商店への支援や、
商工会への助成策など
に変化は生じるのか。

進出店頼りだと、売

り上げが下がった時、
最初の撤退は進出店。
残るは荒廃した商店街
だけになるとの疑念は
抱かれないのか。

町長 町の顔の商店街

を無くすわけにはいか
ないが、対応は中長期
的に考えなければなら
ない。基本にお店や
商工会が自ら努力して
汗をかいてもらう。

その不足部分は行政
が支援する。現行施策
は修正なく実施する。
大手スーパの進退
は、今論議できない。
今回の出店に際して



町の顔の商店街への支援を継続

第2回定例会は、41名の傍聴がありました。

議会を傍聴してみませんか。

平成27年第3回定例会は9月上旬頃に開催する予定です。

議会中の議場の様子を庁舎1階町民ホールにおいて、テレビでも放映しています。
議会傍聴に関するお問い合わせは、議会事務局 ☎47-2184へ

町長として苦渋の判断
があつたことを、理解
していただきたい。
過去のプレミアム付
き商品券の使われ方は問
題がある。今回はシテイ
や農協を含む町内全店が
参加し、期間の長い町民
のためのプレミアム付き
商品券で、消費拡大を図
る決断をした。
既存店も商工会も共
に汗をかいて頑張つて
いただきたい。

本町の地域包括ケアシステムの内容は

町長 ▼ 住まい、医療、介護など一体的に



西山 議員

西山 介護保険制度が改正されて、ますます地域での見守りが必要とされますが、29年度より実施となる「地域包括ケアシステム」とは。

町長 団塊の世代が75歳以上となる平成37年を目途に、住まい・医療・介護・予防・生活支援が、一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築に向けて取り組みが始まります。

西山 具体的などのような取り組みを考えていますか。

町長 今年度から「さ

西山 社協の小地域ネットワーク活動推進事業を、もっと地域にPRし拡大すべきでは。

町長 社協では平成24年度に実施要綱を策定し、今年度補助を申請

西山 「新たな支え合い」として、今後も町としての支援を継続し拡充していきます。

町長 ボランティア事

西山 している町内会は、東幸町、東町、若富町、日出町の4地区で、いずれも高齢者を対象にした交流や、健康維持などを目的としたものです。

町長 26年度は、実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

西山 実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

町長 26年度は、実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

西山 実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

町長 26年度は、実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

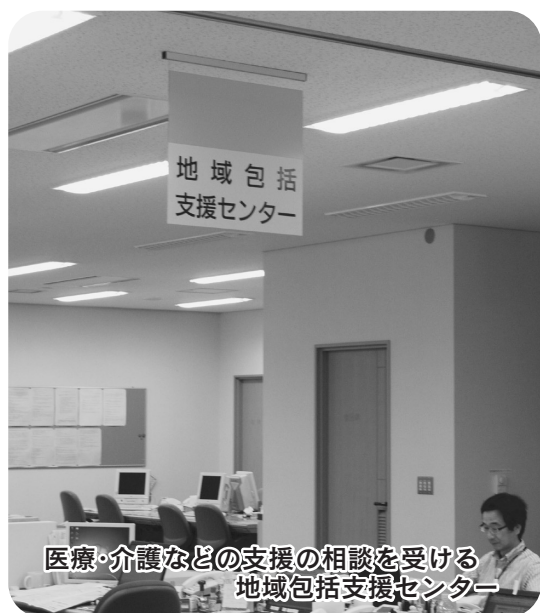
西山 実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

町長 26年度は、実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

西山 実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

町長 26年度は、実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

西山 実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣



医療・介護などの支援の相談を受ける地域包括支援センター

業の現状と今後への拡大の考えは。

町長 社協では平成21年度から、ボランティア

西山 アセンターを設置し実践者と利用者の登録で

町長 26年度は、実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

西山 実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

町長 26年度は、実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

西山 実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

町長 26年度は、実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

西山 実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

町長 26年度は、実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

西山 実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

町長 26年度は、実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

西山 実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

町長 26年度は、実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

西山 実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

町長 26年度は、実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

西山 実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

町長 26年度は、実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

西山 実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

町長 26年度は、実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

西山 実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

町長 26年度は、実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

西山 実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

町長 26年度は、実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

西山 実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

町長 26年度は、実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

西山 実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

町長 26年度は、実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

西山 実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

町長 26年度は、実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

西山 実践者登録が49名、利用者登録が14件で派遣

若者がこの町に定住できるための施策は

町長 ▼ 財政状況を見極めながら課題解決

西山 若者がこの町に定住できるための施策として、高齢世帯と子育て世帯の住み替えできる空き家利活用は。

町長 今回提案した空き家対策事業において、リフォームや中古住宅購入費用に対する助成の制度化にあたっては

西山 子育て世帯に対する支援を第一弾とし、高齢者住宅対策については

町長 今後の検討課題です。

西山 結婚したいと考えている独身者のため

町長 実績は9件、内容は通院の付き添い、住宅清掃、話し相手、行事事

西山 伝いとなっています。

町長 今後ボランティアによる社会福祉活動への参加を一層促進していく必要があると考えま

西山 す。

町長 0年には男性20・14%、女性10・6%となつて

西山 いて、結婚平均年齢が男性30・8歳、女性29・2歳と、少子化への影響も大きいです。

町長 公的な相談窓口が役割を担うことができる

西山 のか、先進地事例を研究してみます。

町長 西山 多子世帯への積極的支援は。

町長 ハード面では「こども園」の開設、ソフト面では多子世帯保育料応援補助金など、財政状況や財源の裏付けを見極めながら進めて

西山 いきます。



子育て支援などの各種施策を検討

小規模校のあり方 行政は検討を始めては

教育長 ▼ 父母や地域の話合い見守る



山田 議員

山田 学校の3要素、「教職員」「施設・教材」「子どもたち」のうち最初に教職員人事のポイントを伺います。

教育長 教職員の人事では、学級経営能力と協調性のほか、部活動指導力、特別支援の経験など幅広く対応しています。

山田 特に大事な教材・教科書の共同採択の経過と今後の採択への姿勢を伺います。

教育長 昨年から管内の教育長が分担して見本を一読する改善を始めました。

今年の中学校教科書

も管内にふさわしい採択を目指します。

山田 部活動を代表して、訓小スクールバンドの教育面の成果は何でしょうか。

教育長 学力向上以外の自主性や協調性、努力の大切さを知り「生きる力」が身につく大切な成果だと思います。

山田 今後6年間の両小学校児童数の推計値を伺います。

教育長 訓子府小学校は220人前後、居武士小学校は20人前後と厳しい状況です。



訓小スクールバンド

山田 小規模校で児童ががんばっていますが、複式授業や体育、生活面で課題は感じませんか。

教育長 複式授業や集団生活面のデメリットはありますが、一人一役やリーダー体験など自主性が育ち相互学習

などはメリットです。教員研修や臨時講師の配置など、行政の対応を継続します。

山田 居武士小学校の運動会は18人が元気で笑いありジンとくる場面もあり、感動的でした。だからといって小規模校の心配がないとはいえず、町内の両小学校の教育環境が違い過ぎるし、幼稚園は一緒に、小学校で別れたまた中学校で合流するジグザグ道は解消すべきではないですか。

教育長 地域に合った道路、小規模校のあり方もありますので環境整備を続けます。

山田 父母などとの話し合いや行政との情報交換はしていますか。

教育長 昨年6月から保護者の間で5回の意見交換が行われていますが行政とはまだありません。

山田 将来を見据えて



小規模校として環境整備を続ける(居小)

行政は現状分析などの検討をもう始めるべきではないですか。

教育長 保護者の話し合いなどを、行政としては見守りたいと考えています。

山田 さまざまな意見があり、地域もまとめにくい中で見守るだけでいいのでしょうか。教育行政執行方針に誕

生から中学校までの一貫教育とあります。新教育制度がスタートした今こそ、今後策定の教育大綱に小規模校のあり方を明記すべきと思いますが。

教育長 教育大綱は基本的な教育政策の表現であり記述する予定はありません。

ふるさと思いやり寄付の取り組みは

町長 ▼ 特産品などの謝礼品を贈ります



河端 議員

民の声を聞く必要があります。

3期目に向けてどのような考えで町政執行するのか伺います。

高齢者や障がい者、

河端 先の選挙では町長・町議共に無投票で当選となったが、白紙委任されたのではなくかなり厳しい声もあり今まで以上に謙虚に町

経済的に困窮するなど問題を抱える人が増えているが、訓子府型の福祉モデル作りとはどのようなものですか。



特産品のカタログ制作を委託し、ふるさと納税に役立てる

町長 訓子府の特性や優位性を活かし、町や

社協、各福祉団体などと連携し、国の制度で対応できない部分をサポートしていきます。

河端 困難を抱えている人をどう把握し施策につなげていくなど相談機能の充実をどのように図りますか。

町長 包括支援センター、社協のボランティア、SOS認知症サポートシステムを各町内会・実践会に広めるなど地域ぐるみで相談を深めていくことが大事です。

河端 これから予想される施設整備とその優先順位は。

町長 任期中に障がい者の多機能型グループホームや長寿会館の建



セキュリティ対策を今後も徹底

設を視野に入れることとしたが、スポーツセンター、図書館などの

大型建設事業や第4期農業基盤整備事業、道路・橋梁・河川・上下水道

の老朽化に伴う2次改修事業など多額の事業費を予想しています。

事業の選択は、緊急性の高い事業を中心に計画していくが、国や

道の補助金や交付金などの確保が不可欠であり、財源の見通しと財政運営の安定化を見据えて検討していきます。

河端 ふるさと納税のやり寄付（ふるさと納税）の具体的な取り組みは。

町長 寄付をされた方へ特産品などの謝礼品を贈る制度に改正します。

町のPRを強化するためインターネット活用やクレジット納付を導入し、事業者（JTB西日本）に委託して行います。

また、ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」に登録し、広く情報発信することで寄付額の確保はもとより、特産品のPRや販路拡大、訓子府のPR、地域活性化に

つながるものと思っています。

具体的には、1万円の寄付を頂いたら事業者へ半額の5千円を支払い特産品業者との交渉、カタログ制作、謝礼品の発注、寄付者へのカタログ送付、ポイント管理、インターネットポータルサイト管理などを委託します。

できれば11月から始めたいと思っています。

河端 行政の電子化が進んでいるが、町の情報管理などの対策は。

町長 セキュリティ対策の指針により、物理的・人的・技術的対策を行っています。今後でもできる限りの対策を徹底していく必要があると考えています。

※河端議員はこの他に教育行政執行方針について質問しました。

農業経営規模拡大の行政施策・支援は

町長 ▼ 国の資金を活用していきたい



西森 議員

西森 本町の農業も、

世の中の国際化に伴い安価な農産物が世界中から輸入されてくる。

今メディアで騒がれているTPP問題。それに対し面積を拡大しコストを下げあらゆる努力をしなければ経営していけない現状がある。

多額の資金が必要となるが町の見解は。

町長 本町では国の制度である農業経営基盤強化資金（スーパーL資金）を制度創設時の平成6年から活用している。本資金は、認定農業者であれば借入可能で、規模拡大はもち

ろん農業経営に必要な投資に幅広く利用できる内容となっており、都度見直しが行われ現在に至っている。本町をはじめ行政支援として、平成6年から23年までに農業者が借入した本資金については、原則として償還終了時まで、国と道と本町による利子助成が行われている。

また、平成24年度以降のスーパーL資金は、

人・農地プランに位置付けられている中心経営体であれば、貸付実行日から5年後の前日まで実質無利子とする

国の金利負担軽減措置が講じられる内容変更が行われている。そのため、以後は地方公共団体による利子助成は廃止されている。今後

も、本町は、農業経営規模拡大に伴う資金としてスーパーL資金を活用していく。

農地取得、流動化に伴う課題について

農業委員長 ▼ 現在は順調、将来は不安要素も

西森 農業をやめる人がいてその農地を買い

受ける人がいるから現在の訓子府はまだ耕作放棄地が少なくすん

でいるが、いずれ農地が売れなくなる時が目前に迫っている。これらに對しどんな対策を

考えているか。

農業委員長 農地売買

状況については、平成24年度59ha、25年度72ha、26年度48haと近年は50ha前後で農地の売買が推移している。本町の農家戸数は306戸で町内農地面積を割かえずと一農家当たり22haとなっている。

また、農業後継者のいない農家も44戸ありTPP問題での農業情勢の不透明感からの農地買い控えがあると考えている。現在は順調な流動化も将来は条件不利地での流動化が進まなくなることも予想される。今後町・農協を含めて対応を検討していく。

西森 近年国内北海道

においても農業の法人化に向けての取組みが進んでいるところですが、本町農業における法人化に対する現状と今後の課題、町、行政としての取組み支援は、

農業委員長

町では平成16年から法人化に意欲のある農業者及び法人経営を行っている農業者の法人研修会、先進地視察に対し、交通費や宿泊費の1/2助成を行っている。今後も農家戸数の減少や後継者不足、農業従事者の高齢化、労働不足が進む中で、地域農業を維持、発展させていくためには、効率的な経営体の育成・確保と農地の利用集積、経営体の体質

強化を図ることが重要となっていくと思う。こうした課題に対し有効な手段として法人化がさげばれている。今後地域を守るため、支援していきたい。

西森 本町が近隣市町村のモデルになるようなリーダー養成をする考えは。

町長 毎年研修の支援をし、海外派遣も行い農業試験場とJA、若い経営者の3者の協力

で今後も協力していく。



農地流動化などを農協と対応を検討

各常任委員会所管事務調査(決定)

総務文教・産業建設常任委員会から、所管事務調査について議会閉会中も継続調査できるよう、議決の願い出があり決定しました。

産業建設常任委員会(調査事項)

- ①農業振興について
- ②畜産振興について
- ③中小企業の振興について
- ④堆肥供給センターについて
- ⑤温泉保養センターの管理運営について
- ⑥町営及び町有住宅の維持管理について
- ⑦建築及び土木工事の執行状況について
- ⑧下水道事業の運営について
- ⑨上水道事業の運営について
- ⑩道路・河川の維持管理について
- ⑪公園の管理状況について
- ⑫町有林の維持管理について

総務文教常任委員会(調査事項)

- ①入札の執行状況について
- ②今後のまちづくりについて
- ③国民健康保険事業の運営について
- ④町税の収納及び賦課状況・滞納繰越・不納欠損処理状況等について
- ⑤各種福祉政策について
- ⑥児童センターの運営について
- ⑦各種予防業務の実施状況について
- ⑧子育て支援センターの運営について
- ⑨保育園及び幼稚園の運営について
- ⑩町営温水プールの維持管理について
- ⑪図書館及びくねっぶ歴史館の管理運営について

報 告

北海道町村議会議員研修会

7月7日(火) 札幌市コンベンションセンター

この研修会では、中央大学名誉教授であり地方制度調査会委員を務めた今村都南雄氏による「地方議会を取り巻く最近の動向」としての講演では、議会基本条例による議会改革の先進例を示しながら、「気がついたことから、出来ることから」始める改革の必要性和、現在国が進めている「地方創生」に対しての地方議会の役割について述べられました。

テレビ朝日コメンテーターの川村晃司氏からは、過去の時々の政治動向に触れながら、「安全保障関連法案」「TPP・農協改革」をめぐる状況から、世論を聞くこと、その声を国政に届けることが求め



られているとの講演がありました。

いずれの講演も、時宜にかなったものでした。

(工藤弘喜)

…ひやうやい、ハタジョー…

3月の議会は、41名の方が傍聴されました。

議会を傍聴された方に感想を聞いてみました。

◆今回の議会は、何に

より知りましたか。

◆新聞折り込みのチラシ

で知りました。

◆傍聴は何回目ですか。

また、傍聴するきっかけはなんですか。

一度、議会を傍聴し

てみたくて、友達を誘

いました。都合がつか

ず、ひとりで来ました。

◆傍聴して感じたこと

がありましたら、お

聞かせください。

町のことを議員の皆

さんが、真剣に話し合

いしていることに感心

しました。

また、機会があれば

傍聴してみたいです。

議会の主なうごき

5月

- 8日 開拓記念日のつどい
- 19日 オホーツク町村議会議長会定期総会(佐呂間町・議長)
- 21日 訓子府高等学校教育振興会議(議長・総文委員長)
- 22日 オホーツク圏活性化期成会定期総会(網走市・議長)
訓子府町商工会第57回通常総会(副議長)
- 26日 町議会議員OB会総会(議長)
- 30日 訓子府中学校運動会(正副議長・総文委員)
置戸町議会議員との親睦パークゴルフ

6月

- 1日 北海道横断自動車道北見地区早期建設促進期成会総会(北見市・議長)
- 3日 美幌地方自衛隊協力会総会(美幌町・議長)
- 5日 全員協議会
- 6日 訓子府小学校運動会(正副議長・総文委員)

- 7日 居武士小学校運動会正副議長・総文委員)
- 8日 訓子府町暴力追放推進協議会総会(議長)
- 9日 議会運営委員会
- 10日 総務文教常任委員会
- 11日 産業建設常任委員会
訓子府町農業担い手対策推進協議会総会(議長・産建委員長)
- 17日 北海道町村議会議長会第66回定期総会(札幌市・議長)
- 19日 社明運動推進委員会(議長・総文委員)
- 20日 幼稚園・保育園合同運動会
自衛隊父兄会美幌地区協議会創立50周年記念式典・祝賀会(美幌町・議長)
- 22~24日 第2回定例会
- 24日 議会広報特別委員会
議員会役員会
- 27日 議員OB会とのパークゴルフ
オホーツク支部北見分会連合消防演習
- 30日 議会運営委員会
第5回臨時会
津野町交流事業推進協議会(議長)

7月

- 4日 札幌くねっぶ会(札幌市・正副議長)
- 6日 北雄ラッキー竣工式(議長)
- 7日 北海道町村議会議員研修会(札幌市)
- 8日 行政視察(札幌市)
- 10日 総務文教常任委員会
- 12日 くねっぶふるさとまつり(議長)
- 13日 老人クラブ連合会パークゴルフ大会(議長)
議会活性化特別委員会
夏の交通安全運動街頭啓発
- 14日 産業建設常任委員会
- 15日 戦没者追悼式
議会広報特別委員会
- 20日 美幌駐屯地創立64周年記念行事(美幌町・議長)
- 22日 議会広報特別委員会
- 23日 新任議員研修会(帯広市)
- 25日 大坪勝廣氏叙勲受章祝賀会
- 29日 北海道横断自動車促進期成会夏季要望(札幌市・議長)
- 30~31日 オホーツク圏活性化期成会中央要望(東京・議長)

委員会の活動

議会運営委員会

□ 6月9日(火)

○ 第2回定例会の運営方法について協議を行った。

□ 6月30日(火)

○ 第5回臨時会の運営方法について協議を行った。

総務文教常任委員会

□ 6月10日(水)

○ 第2回定例会における議案の審査を行った。

□ 7月10日(金)

○ 所管事務調査の調査事項について協議を行った。

産業建設常任委員会

□ 6月11日(木)

○ 第2回定例会における議案の審査を行った。

□ 7月14日(火)

○ 所管事務調査調査

事項について協議を行った。

議会広報特別委員会

□ 6月24日(水)

○ 「議会だより」第185号の問題提起及び次号の掲載予定の記事確認を行った。

□ 7月15日(水)・22日(水)・27日(月)

○ 「議会だより」第186号の確認作業を行った。

議会活性化特別委員会

□ 7月15日(水)

○ 議会改革など特別委員会の今後の運営について協議を行った。

あとがき

第2回定例町議会を無事に終えることができました。

無事といったのは、私自身が先輩議員の指導もいたいて一般質問、補正予算などの審議をなんとか終えることができたからです。

しかし、時間配分や質問の仕方など多くの反省と改善の大切さも実感させられました。

議会一丸となって議会の活性化に努力しなければなりません。

町民のみなさまの「叱咤激励」「ご意見」をお願いします。

山田日出夫

議会広報特別委員会

委員長 山田日出夫
副委員長 河端 芳恵
委員 須河 徹
工藤 弘喜
余湖 龍三
川村 進夫
西森 信夫
堤 三樹磨
西山 由美子

議長 上原 豊茂